

白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年度地方創生推進交付金事業） 効果検証シート

1 基本情報

事業名	情報集約・発信支援事業		
位置付け	基本目標② 人を魅了するまちづくり～魅せる しろいの魅力をカタチにして		
	1 地域資源を活かした魅力発信		
担当課	秘書課	事業年度	令和3年度～令和5年度

2 事業の背景・概要

現状では、市内外の人が市の魅力を調べるためには、例えば市の補助制度を調べるには市HP、農産物の販売場所を調べるにはそれぞれの農家が作成しているホームページを見るか現地に直接行く、白井工業団地の情報を調べるには企業ごとのホームページを見るなど、調べる人にとっては手間がかかり、さらに一か所に集約されていないことで関連した情報等も非常に調べにくい。R2住民意識調査では、市民参加・協働のまちづくりを行う上で重要な取組として、まちづくりに関する情報の発信が46.4%で一番高い項目となっており、いかに市や市民団体、事業者等が実施している取組を周知し、また、各々をつないでいくかが今後の課題となっている。そこで、官民連携プラットフォームを構築し、市の魅力にワンストップでアクセスできる窓口とすることで、集約した白井の様々な魅力（文化資源、市内で行われるイベント、市内事業者、市内団体等）をだれでも簡単に活用することができ、市のホームページとは異なる、双方向のやり取りが可能な交流の場を提供することで、次の効果を期待できる。

【市域人口の維持】

●交流人口・関係人口の拡大

官民連携プラットフォームで集約した白井の様々な魅力を市内外に発信することで、市内外の人が一か所で様々な白井の情報を入手できるとともに、プラットフォームを活用したイベント等（例えば市内のお店や直売所を巡るスタンプラリー）の企画・運営を行うことで市外の人々の白井市への来訪意欲を高め交流人口を増やす。また、様々なイベントへの参加を通して白井に来訪する機会や人々の交流の機会を増やしたり、白井の農産物を定期的に購入してもらったりすることで白井に愛着を抱いてもらい、関係人口に発展させるほか、市民のシビックプライドの醸成を図る。

●雇用創出・支援

市民や市外の人々が、プラットフォームを通じて事業所や企業の雇用情報を入手することができるほか、様々な人々や団体の交流が生まれることで新たな事業の創出も期待できる。また、企業や事業所はプラットフォームに雇用情報を掲載することで、マッチングがしやすくなり、雇用創出・支援につながる。

【地域コミュニティの形成】

●地域活動への参画

市民団体がプラットフォームを通じて団体活動を発信し、「市民活動を行いたいけどどんな市民団体があるかわからない」人や、「どういった活動があるかわからない」人が情報にアクセスできるようになり、より市民団体と地域活動に参画したい人のマッチングが行われやすくなることで、地域コミュニティが拡大し、市の活力の維持に寄与する。また、例えば独り身の高齢者の方等が地域活動に参画することで自治会の枠にとられない別の形（市民団体内での対応等）で高齢化等の社会問題に対応していくことができるようになる。

●まちのにぎわいの創出や経済の活性化

プラットフォーム上で集約したさまざまな地域資源を活用したイベント等を民間のノウハウを用いて行うことで、市単独では行えなかった画期的な手法を用いて地域のにぎわいの創出や経済の活性化を行うことが期待できる。

【参考】事業イメージ



3 取組状況

●継続的な事業運営のため協定を締結

令和3～5年度までは委託事業として契約を締結しているが、令和6年度以降も継続的に事業運営を行うため、受託事業者と「情報集約・発信支援等に関する協定書」を締結（財源：サイトへの広告費や協賛等）

●情報発信プラットフォームの新設

令和4年1月1日に地域情報サイト「しろいまっち」を開設した。

●イベント情報や観光情報等を集約・発信

市内の店舗、企業、イベントなどを直接取材して情報収集し、新たに開設した地域情報サイト「しろいまっち」において情報発信を開始した。

●オープニングキャンペーンを実施

サイトを内を回遊させる謎解き企画を実施した。（約230人が回答・95%が満足と回答）

4 成果

重要業績評価指標 (上段：目標、下段：実績)		単位	基準値 H31年度	R3年度	R4年度	R5年度
①	プラットフォームを活用して行われたイベント数	回	0.0	0.0	15.0	15.0
				7		
②	官民連携プラットフォームにおける事業者・団体数	社・団体	0	50	70	90
				28		
③	官民連携プラットフォームアクセス数	万回	0	6	25	25
				7.5		
④	白井市の社会増減数	人	△ 35	△ 35	△ 28	△ 21
				△ 76		

5 コスト

予算額	9,640千円	決算額	9,009千円	交付金額	4,504.5千円
-----	---------	-----	---------	------	-----------

6 今後の方針

事業効果	地方創生に相当程度効果があった
今後の方針	事業の継続（計画どおりに事業を継続する） ●サイト閲覧者を増加させる工夫 広報しろいなどに地域情報サイト「しろいまっち」につなぐ記事の掲載や、サイト主催のイベントを開催し、サイト閲覧者を増加させる。 ●掲載店舗・掲載団体の増加（一部業者による営業） サイト閲覧者の増加に合わせて、掲載される情報の充実にも取り組む。 ●密な情報共有と連携 サイトの閲覧状況や営業状況等を定期的な会議（月一回）で共有するほか、取り上げる話題などについて日常的に連絡を取り合う。

7 白井市まち・ひと・しごと創生審議会の意見

・サイトを魅力的なものにし、アクセス数を増やすには、市外の近隣の範囲の情報もサイトに乗せ、白井市を中心とした大きなサイトとしていったほうが良いのではないかと。そうすることで自立運営できるサイトになっていくのではないかと。
 ・市の様々なセクションで別の情報を持っていると思うので庁内の横の連携を強化して欲しい。
 ・今までよりもサイトが作られたことでいろいろとつながりやすくなり、サイトを立ち上げた目的である「情報を集約すること」はかなり感じられた。また、今後については、様々な人に入らなければならぬもの、誘導するようなものがあってもっと広がるのではないかと。